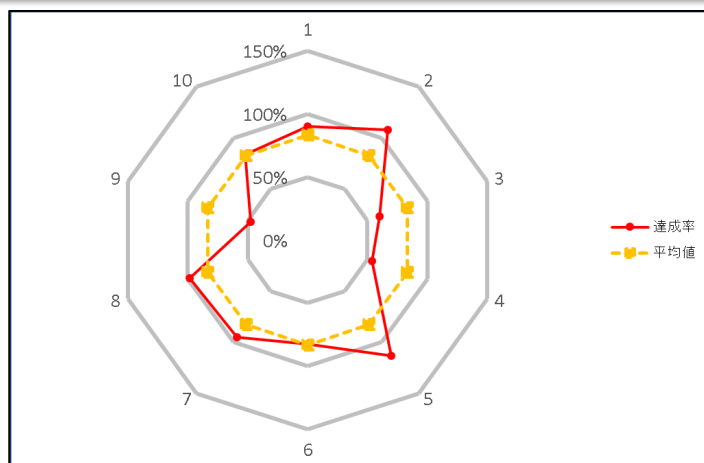


各目標数値にかかる年度別進捗状況について（令和2年度の状況）

京都府の農林水産業・農山漁村の将来展望

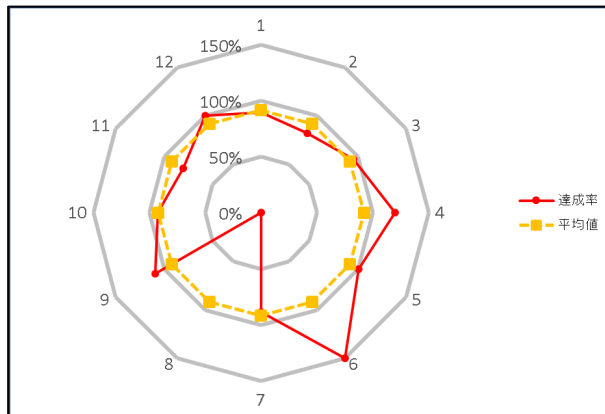


達成率の平均値：83% ※少数点以下第1位四捨五入

項目	単位	基準 (H30年度)	R5年度 目標	R2年度		
				目標値	実績値	達成率
1 農林水産業産出額	億円/年	786	820	800	720	90%
2 新規就業者数 (農業)	人/年	165	150	150	162	108%
3 (うち、畜産業)	人/年	7	10	10	6	60%
4 新規就業者数 (水産業)	人/年	52	50	50	27	54%
5 新規就業者数 (林業)	人/年	30	30	30	34	113%
6 担い手への農地集積率	%	30	53	39.2	32.3	82%
7 農業法人が経営する農地面積	ha	1,598	2,100	1,798	1,714	95%
8 適正に経営管理されている人工林面積	ha	29,000	37,400	29,500	29,077	99%
9 農山漁村等への移住者数	人/年	658	1,300	1,180	559	47%
10 関係人口数	人/年	1,236	1,800	1,500	1,258	84%

各目標数値にかかる年度別進捗状況について（令和2年度の状況）

戦略1 スマート&コラボで農林水産業の夢と未来を創る

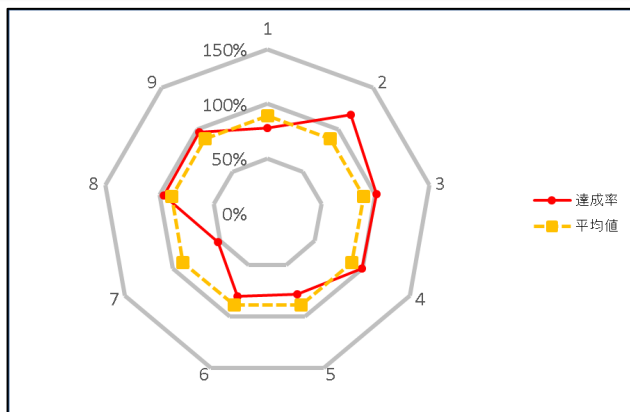


達成率の平均値：92% ※少数点以下第1位四捨五入

項目	単位	基準 (H30年度)	R5年度 目標	R2年度		
				目標値	実績値	達成率
1 農林水産業産出額【再掲】	億円/年	786	820	800	720	90%
2 担い手への農地集積率【再掲】	%	30	53	39.2	32.3	82%
3 農業法人が経営する農地面積【再掲】	ha	1,598	2,100	1,798	1,714	95%
4 スマート関連技術導入者数	件/年	0	40	25	30	120%
5 新たに農商工連携・6次産業化に取り組んだプロジェクト数	件/年	80	100	100	101	101%
6 南北連携に取り組む農業経営体数	経営体	0	10	4	6	150%
7 農外企業の農業参入数	法人	105	155	125	111	89%
8 経営継承に向けた支援により法人化した畜産農家数	戸	0	6	2	0	0%
9 防災重点ため池に係るハザードマップ作成数	件	118	625	354	386	109%
一定規模以上の農・林・水事業体						
10 【農業】販売額 2,000万円/年	戸	394	500	436	403	92%
11 【林業】素材生産量 1万 m ³ /年	事業体	1	10	5	4	80%
12 【水産】販売額 400万円	人	-	7	4	4	100%

各目標数値にかかる年度別進捗状況について（令和2年度の状況）

戦略2 「林業の再生」と「防災・減災」の両輪で健全な森林を目指す

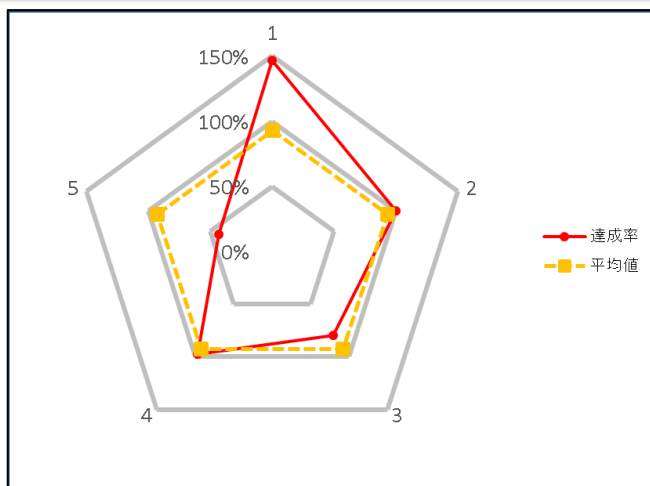


達成率の平均値：89% ※少数点以下第1位四捨五入

項目	単位	基準 (H30年度)	R5年度 目標	R2年度		
				目標値	実績値	達成率
1 素材生産量	万m ³ /年	13.7	24.6	18.1	14.1	78%
2 林業産出額	百万円/年	2,719	4,165	3,320	3,917	118%
3 (うち、特用林産物)	百万円/年	1,041	1,230	1,134	1,145	101%
4 経済的に管理されている民有林	千ha	62	65	62.2	62	99.7%
5 府内産木材の利用量	万m ³ /年	11.8	22.3	15.8	12.4	78%
6 年間1万m ³ 以上の素材を生産する林業事業者数【再掲】	者	1	10	5	4	80%
7 一貫作業による施業面積	ha	3	9	5	2.6	52%
8 山地災害危険地区の整備数	箇所	1,660	1,960	1,780	1,709	96%
9 山地災害危険地区の整備数のうち、特に災害リスクが高い地区で対策が講じられている地区数	箇所	300	400	340	329	97%

各目標数値にかかる年度別進捗状況について（令和2年度の状況）

戦略3 「京らしさ」を生かしたバリューチェーンで国内外への展開を加速する



達成率の平均値：93% ※少数点以下第1位四捨五入

項目	単位	基準 (H30年度)	R5年度 目標	R2年度		
				目標値	実績値	達成率
1 農林水産物・加工品の輸出金額	億円/年	7.4	16.9	11.2	16.4	146%
2 需要に合わせた新たな京のブランド産品数	件	0	10	4	4	100%
3 京都府オリジナル米の栽培面積	ha	0	200	5	4	80%
4 環境にやさしい農業の取組数（面積）	ha	2,151	2,271	2,166	2,110	97%
5 きょうと食いく先生授業数	授業/年	329	490	393	170	43%

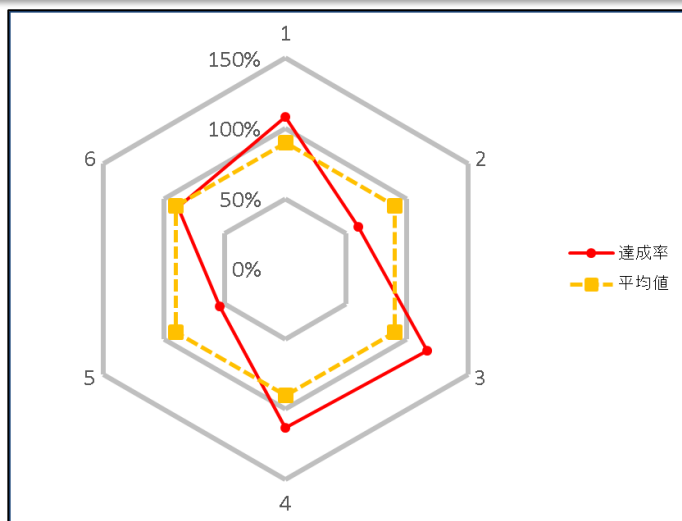
（参考）令和2年度の達成率を算定しない項目

GI等国际水準認証数	件	1	3	—	1	—
食べ残しゼロ推進店舗数（※）	店舗	89	600	417	132	32%

※事務の移管により他部局所管事業となったため、達成率の平均値の算定に含めていない。

各目標数値にかかる年度別進捗状況について（令和2年度の状況）

戦略4 人づくりの裾野を広げ多様な人材が育む産業・地域を実現する

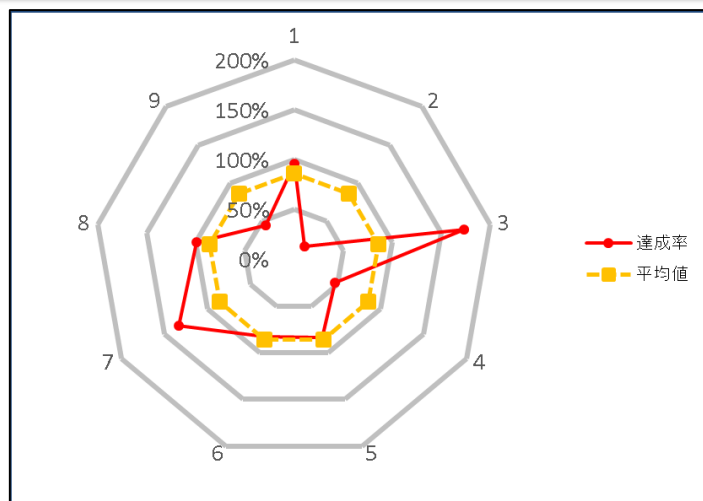


達成率の平均値：90% ※少数点以下第1位四捨五入

項目	単位	基準 (H30年度)	R5年度 目標	R2年度		
				目標値	実績値	達成率
1 新規就業者数（農業）【再掲】	人/年	165	150	150	162	108%
2 (うち、畜産) 【再掲】	人/年	7	10	10	6	60%
3 (うち、宇治茶)	人/年	12	12	12	14	117%
4 新規就業者数（林業）【再掲】	人/年	30	30	30	34	113%
5 新規就業者数（水産業）【再掲】	人/年	52	50	50	27	54%
6 認定農業者数	経営体	1,353	1,830	1,543	1,363	88%

各目標数値にかかる年度別進捗状況について（令和2年度の状況）

戦略5 地域住民に寄り添い、強みを磨いて農山漁村（ふるさと）の絆を守る



達成率の平均値：86% ※少数点以下第1位四捨五入

項目	単位	基準 (H30年度)	R5年度 目標	R2年度		
				目標値	実績値	達成率
1 地域の課題を認識し、前向きなアクションを起こしている集落数	集落数	946	946	946	904	96%
2 上記項目のうち、地域収益確保に向けたチャレンジ数	地区	4	7	6	1	17%
3 地域ビジネス創業数	件/年	14	18	15	26	173%
4 農山漁村等への移住者数【再掲】	人/年	658	1,300	1,180	559	47%
5 関係人口数【再掲】	人/年	1,236	1,800	1,500	1,258	84%
6 鳥獣被害金額	百万円/年	274	140	212	249	83%
7 ICTを活用した鳥獣被害対策数	件/年	3	13	6	8	133%
8 狩猟又は有害鳥獣捕獲事業を行う狩猟登録者数	人/年	2,817	2,800	2,800	2,788	100%
9 鳥獣のジビエ利用量	t/年	46	60	51.6	23	45%

各目標数値にかかる年度別進捗状況について（令和2年度の状況）

（総括）進捗一覧

分野	指標数	R2対象指標数※	R2年度目標に対する達成率			
			80%以上	90%以上	100%以上	80%を下回る
将来展望	10	(10)	7	5	2	3
戦略1	12	(12)	11	8	5	1
戦略2	9	(9)	6	5	2	3
戦略3	7	(6)	4	3	2	2
戦略4	6	(6)	4	3	3	2
戦略5	9	(9)	6	4	3	3
合計	53	(52)	38	28	17	14

※R2年度に算定されない項目を除いた項目数であり、再掲は含まれる。

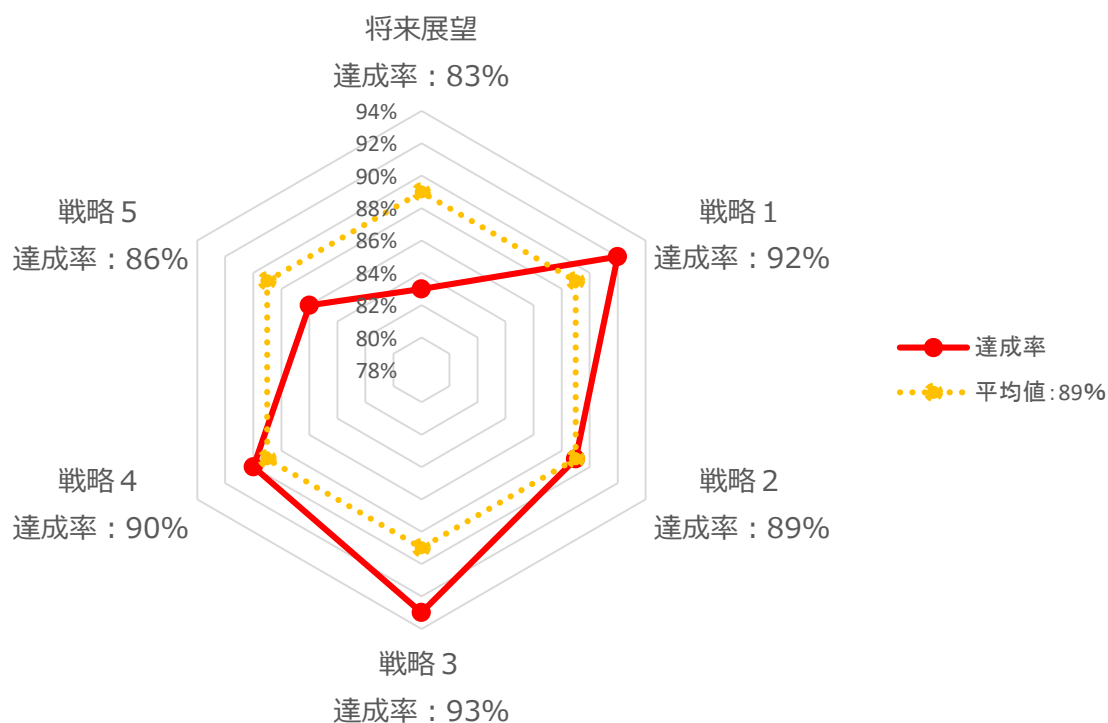
【戦略1】 スマート&コラボで農林水産業の夢と未来を創る

【戦略2】 「林業の再生」と「防災・減災」の両輪で健全な森林を目指す

【戦略3】 「京都らしさ」を生かしたバリューチェーンで国内外への展開を加速する

【戦略4】 人づくりの裾野を広げ多様な人材が育む産業・地域を実現する

【戦略5】 地域住民に寄り添い、強みを磨いて農山漁村（ふるさと）の絆を守る



各目標数値にかかる年度別進捗状況について（令和2年度の状況）

京都府の農林水産業・農山漁村の将来展望（総評）

達成度の平均値は83%となった。その中で、農林水産業算出額について、特に茶は、コロナ禍により、観光需要、業務用需要が大幅に減少したことなどの要因から前年よりも減少した。また、担い手への農地集積率について、目標値に届かず、今後中山間地でいかに集積を行っていくかが課題となっている。さらには、移住者数は、コロナ禍による他地域への往来自粛等の影響もあり、目標値を大きく下回った。移住に関する相談件数は、前年度に比べて約3割増加するなど、地方移住への関心は高いことから、積極的な情報発信やアプローチが必要となっている。

戦略1 スマート&コラボで農林水産業の夢と未来を創る（総評）

達成度の平均値は92%となり、コロナ禍であっても、高い達成率となった。その中で、スマート関連技術導入者数は、ワンストップ相談窓口やスマート農林水産業祭での情報提供、スマート農業機械の導入支援事業等により、前年度に引き続き順調に推移した。また、新たに農商工連携・6次産業化に取り組んだプロジェクト数は、京の農業応援隊や中小企業応援隊の連携強化によるマッチングなど、農林水産物の新商品・新サービスの開発を促進することで、目標値を上回ることができた。一方で、経営継承に向けた支援により法人化した畜産農家数は、出荷先の確保など、コロナ禍の影響を回避するため、経営の安定が優先されたことから目標値を下回った。引き続き、相談会の開催など法人化に向けた支援が必要となっている。

戦略2 「林業の再生」と「防災・減災」の両輪で健全な森林を目指す（総評）

達成度の平均値は89%となった。その中で、「林業の再生」分野では、林業産出額は目標値を上回り、年間1万㎡以上の素材を生産する林業事業体数の増加など明るい兆しもある中、素材生産量と府内産木材の利用量は、基準年と比して増加しているものの、達成率が78%と、目標に届かなかった。素材生産量では、高性能林業機械の導入や路網整備など生産性の向上に向けて取り組んでいるが、一層の対策強化が必要な状況である。また、府内産木材の利用量についても、福祉施設や商業施設の木造化・木質化を支援するなど、引き続きの対策強化が求められる。一方で、「防災・減災」分野では、目標値をほぼ達成出来ており、計画的な事業進捗により施策を展開している。

戦略3 「京都らしさ」を生かしたバリューチェーンで国内外への展開を加速する（総評）

達成度の平均値は93%となり、輸出対策の成果などを要因に高い達成率となった。具体的には、農林水産物・加工品の輸出金額は、コロナ禍や香港の政情不安による影響はあったものの、好調な宇治茶が全体を牽引する形で、大幅に増加した。また、需要に合わせた新たな京のブランド産品数について、堀川ごぼうの「ミニパック」や「賀茂ナス」の首都圏出荷をブランド規格に追加し、順調に推移した。

一方で、きょうと食いく先生授業数については、コロナ禍による一斉休校や調理実習の中止等により、食いく先生の派遣依頼が大幅に減少し、目標値を大きく下回った。オンラインの一層の活用など、工夫を凝らした取組が必要となっている。

戦略4 人づくりの裾野を広げ多様な人材が育む産業・地域を実現する（総評）

達成率の平均値は90%となった。農業の新規就業者数について、法人化や経営力強化の取組を推進し、雇用を行える農業法人が増加したことにより、目標値を上回った。宇治茶、林業の新規就業者数についても、農業大学校や林業大学校による人材育成、就業相談会の開催など、担い手対策を推進したことにより、目標値を上回った。

一方で、畜産業、水産業の新規就業者については目標値に届かなかった。畜産業については、就農に結びつけられるよう畜産応援隊による伴走支援などの取組を強化するとともに、水産業については、海の民学舎に関連する取組や国の施策と連携した新規就業者確保の対策等を引き続き講じることが必要となっている。

戦略5 地域住民に寄り添い、強みを磨いて農山漁村（ふるさと）の絆を守る（総評）

達成率の平均値は86%となった。地域ビジネス創業数については、移住者の起業に対するニーズの高まりや支援施策の周知等により事業実施数が増加し、目標値を大きく上回った。また、ICTを活用した鳥獣被害対策数では、京都市を中心として、地域関係者が一体となった被害対策の取組が増加したことにより、目標値を大きく上回った。一方で、鳥獣被害金額については、前年度に比べて減少したものの、イノシシ等の出没が多かった年でもあり、目標値を達成出来なかった。鳥獣のジビエ利用量についても、コロナ禍における外食産業の低迷による取引量の減少や、野生イノシシの豚熱感染による風評被害などの影響で、目標値を下回った。引き続きの対策強化が必要である。